



第51回消防救助技術東海地区指導会

消防救助隊員が日々訓練して鍛えた救助技術を競い合う「救助の大会」である『消防救助技術指導会』の東海大会が、今年度は三重県鈴鹿市にある三重県消防学校にて開催されます。

各救助種目に応じて日々訓練をしており、その成果を、タイムと正確性において競う大会になります。

各種目の上位消防本部は全国大会へ出場します。この機会に「人命救助のスペシャリスト」の技術を観戦してみたいかがでしょうか。

※丹羽消防署からは引揚救助訓練とロープブリッジ救出訓練に出場予定です。

引揚救助訓練

要救助者を含む5人1組のチーム。訓練塔の下の要救助者を呼吸器を装着した隊員が搬送、訓練塔上に救出します。

ロープブリッジ救出訓練

要救助者を含む4人1組のチーム。向かいの訓練塔まで水平に張られたロープを渡り、要救助者を救出します。

大会概要

開催日時 7月27日(木)

午前9時15分から午後3時30分

※荒天順延 7月28日(金)

開催場所 三重県消防学校

(三重県鈴鹿市石薬師町452番地)

競技種目 陸上の部 8種目(引揚

救助、障害突破、ロープブリッジ

渡過、ほくく救出、はし)登はん、

ロープ応用登はん、ロープブリッ

ジ救出、技術訓練)

水上の部 7種目(複合検索、基

本泳法、溺者救助、溺者搬送、水

中検索救助、人命救助、水中検索)

出場者 東海地区3県の各消防本部か

ら選抜された救助隊員約8000名

問合せ先 丹羽広域事務組合

消防本部 予防課 ☎95-5158

— 普通救命講習会 —

日時 7月15日(土)

午前9時から正午

場所 丹羽消防署 大口出張所

申込みおよび問合せ先

丹羽消防署本署 ☎95-5151

大口出張所 ☎95-0119

大町国内グローバル研修事業
留学生と英語を使って夏を楽しもう!

- ▽自分の英語力を試したい人
- ▽異文化交流に興味がある人
- ▽将来の視野を広げたい人

このような思いのある方はぜひご参加ください。

留学生との交流活動を通じて、さまざまな国籍や文化を持つ人々が互いに違いや価値観を認め合う「多文化共生」への理解を深めませんか。

研修期間 8月21日(月)から23日(水) 2泊3日

研修内容

- 1日目 留学生の母国の文化や生活を知ろう! 社会問題について学び、自分たちがどう社会に貢献できるかみんなで考えよう。
- 2日目 留学生の夢、目標をインタビューして自分の夢、目標を考え発表しよう。
- 3日目 研修で学んだことをみんなに発表しよう。

研修場所 旭高原青少年自然の家(愛知県豊田市)

人数 20名

応募資格

▽大口町内にお住まいの中学校2年生から大学生

▽未成年者は、保護者の理解と積極的な協力の得られる方

選考基準

▽研修後も本経験を活かし、町の国際交流事業に協力できること

▽事前・事後研修に参加できること

▽心身ともに健康で規律正しい生活ができ、意欲的であること

申込み方法 次の3点を役場地域協働課まで提出してください。様式は町ホームページからダウンロードできます。

①申請書

②保護者承諾書(未成年者のみ提出)

③作文(自分でできるSDGsについて) 自由様式(800字以内)

申込期限 7月14日(金)午後5時

選考方法および日時

作文および面接

面接予定日は7月30日(日)です。

応募者には後日詳細をご案内します。

費用 無料

問合せ先 地域協働課 ☎95-1691